

各 位



平成19年4月26日

会社名 トヨクニ電線株式会社
代表者名 代表取締役社長 猪口 洋志
(JASDAQ・コード5811)
問合せ先 取締役経理部長 櫻井 景介
電話番号 048-559-2152

平成19年3月期通期(連結・単独)業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年10月26日付当社の「平成19年3月期中間(連結・単独)業績予想及び通期(連結・単独)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の通期の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	14,200	△ 30	△ 150
今回修正 (B)	14,180	△ 55	△ 160
増減額 (B-A)	△ 20	△ 25	△ 10
増減率	△ 0.1 %	— %	— %
(参考)平成18年3月期実績	14,806	218	163

2. 単独業績予想の修正 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	14,000	0	△ 60
今回修正 (B)	14,000	30	△ 25
増減額 (B-A)	0	30	35
増減率	0.0 %	— %	— %
(参考)平成18年3月期実績	14,345	123	116

3. 修正理由

売上高につきましては、連結および単独とも前回予想とほぼ同じになる見込みです。

連結の損益予想は、主に子会社における光機器製品の需要回復が期待したほど進まなかったため、前回予想に比べ損失が増加し、経常損失55百万円、当期純損失160百万円となる見込みです。

一方、単独の損益予想は、住宅・ビル配線システム製品において下期以降に住宅メーカーを始めお客様に対する銅ベース・スライド製の採用が浸透し売値への転価が進んだこと等により、損益が前回予想に比べ改善し、経常利益30百万円、当期純損失25百万円となる見込みです。

(ご留意事項)

業績予想につきましては、現時点での事業活動に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上